

北緯45度の風が吹く町

国営総合農地防災事業 ほろのべ 幌延地区



■地区概要

てしおぐん ほろのべちよう

- 関係市町村 : 北海道天塩郡幌延町
- 受益面積 : 2,593ha
- 排水路 : 13条 16.1km
- 主要作物 : 牧草
- 事業開始年度 : 平成30年度～

■幌延地区農業の概要

本地区は、北海道天塩郡幌延町に位置し、日本海に注ぐ一級河川天塩川の右岸及びその支流に広がる農業地帯であり、酪農経営が展開されている。

地区内で生産される生乳は隣接する「雪印メグミルク(株) 幌延工場」へ集乳され、バター等に加工され、全国各地へ出荷され、消費されている。



雪印メグミルク(株)幌延工場



雪印北海道バター



幌延町から望む利尻富士 地区内の北緯45度通過点



営農作業風景



JA幌延町TMRセンター

OTMRセンターの仕組み

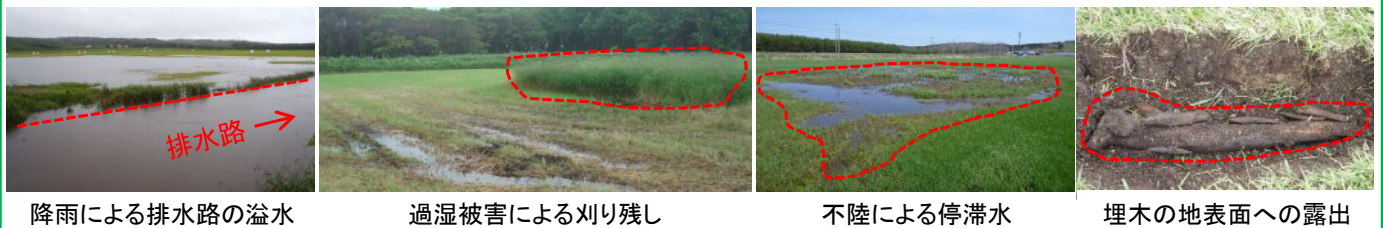
- ・構成員の草地を一括して管理・収穫
- ・粗飼料と濃厚飼料を混合した栄養価の高い飼料を供給

農作業の効率化
及び
高泌乳の実現

■ 幌延地区の現状

本地区は、泥炭土が広く分布しており、泥炭土に起因した地盤沈下により、農業用排水路においては排水能力が不足し、降雨時には牧草の湛水被害が発生しているとともに、農用地においては、過湿被害、不陸障害及び埋木障害が発生している。

このため、牧草の生産量及び農作業の能率が低下しており、不安定な農業経営が余儀なくされている。



降雨による排水路の溢水

過湿被害による刈り残し

不陸による停滞水

埋木の地表面への露出

■ 事業実施による効果

● 農業用排水路と農用地の機能回復により、湛水被害及び過湿被害等の解消



排水路の整備(イメージ)
湛水被害の解消



農地の整備(イメージ)
過湿等解消により大型機械の導入が可能

● 農業用排水路と農用地の機能回復により持続的な地域農業の持続的な発展を図ると共に食料の安定供給に貢献

○ 食料の持続的な安定供給

地域で生産される生乳は、幌延町内の工場加工され、バター等に加工された後、全国各地へ出荷されている。
(幌延町で生産される生乳は505万人(福岡県の人口相当)の年間消費量に匹敵)



福岡県の人口に相当

熊本県+鹿児島県の人口に相当

○ 地域農業の持続的な発展

地域では、畜産クラスターを始めとした地域関係者の連携による各種取組みにより、酪農の生産性及び収益性の向上を目指している。

幌延町畜産クラスター構想

